

# 資料 7-4-②

令和4年(2022年)6月29日(水)  
第7回市民参加推進審議会

## 市民参加実施状況報告書②

案件名	(仮称)八王子駅周辺地区屋外広告物地域ルール of 策定	実施所管	まちなみ整備部まちなみ景観課
概要	景観計画に定める重点地区のひとつである中心市街地環境整備区域の一部において、地域の特性を活かした景観形成を推進するため、景観や屋外広告物の規制・誘導の方針に関する検討を進める。	策定期間	令和元年度～令和4年度

### 1. 実施した市民参加の方法 令和元年度(2019年度)と令和2年度(2020年度)に実施したものと及び、令和3年度(2021年度)に実施予定のものを記載してください【三か年分】

(1)手法	(2)実施名称	(3)実施目的(期待する効果)	(4)期間・日時・会場	(5)周知方法	(6)参加者数等	(7)実施にあたって工夫した点
その他	わくわくフェア出展	子どもを主とする多くの市民や事業者を対象に、良好な景観形成に資する屋外広告物についての意識を醸成する。	令和元年10月19・20日	フェア主催者による。実施報告は市HP。	・26名(まち並み製作コーナーを体験した子ども) ・展示閲覧やスタンプラリー訪問は未記録	子ども景観学習や屋外広告物賞などの事業と関連させ、次年度から本格化させる地域ルールの検討を意識して実施した。
ワークショップ	八王子駅周辺の未来の景観を考えるワークショップ	景観計画に定める重点地区の特性を活かした景観形成を推進するため、屋外広告物地域ルール等の検討を進める。	①令和3年3月29日 ②令和3年7月6日 ③令和3年11月15日 ④令和4年2月9日	市広報、市HP、町会回覧、各商店会送付	①14名 ②17名 ③13名 ④21名	・広報やHPにて地区外の市民にも広く参加募集した。学生や商店会に個別に参加を募った。 ・コロナ禍の対応で、④は職員向けとしたほか、オンラインによる参加手法も取り入れた。
公聴会、説明会	意見交換会	ワークショップ等における意見をふまえて作成した地域ルール等の内容について意見交換を行う。	令和4年度中予定	—	—	—
審議会等	八王子市景観審議会	学識経験者、各団体、公募市民委員からなる審議会に、地域ルール等の案を諮問する。	令和4年3月24日	—	委員数12名(学識経験者5名、団体代表市民委員4名、公募市民委員3名)	・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面参加とオンライン参加のハイブリッド方式で実施した。

### 2. 市民参加実施スケジュール

スケジュール	年度	令和元年度(2019年度)												令和2年度(2020年度) 予定												令和3年度(2021年度) 予定														
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
策定期間																																								
その他								●																																
ワークショップ																												●			●						●			
公聴会、説明会																																								
審議会等																																								●

### 3. 市民参加の方法の組合せやスケジュールについて工夫した点

・本市の中心市街地は、範囲が広く、かつ利害関係者が多様なエリアのため、幅広い層の市民がいつでも参加の機会を得られるよう、複数の方法を活用した。  
・不特定多数向けのイベントに始まり、特定の参加者によるワークショップで取り組み内容の検討を深めたあと、意見交換会等で再度不特定の方へ広く発信・情報交換する工程で、段階的に合意を得たい。

### 4. 市民参加の実施についての課題

・コロナウイルス感染症の影響で、対面方式のワークショップ等の実施難易度が上がってしまった。参加者数をあまり増やせず、緊急事態宣言の度に開催を延期し事業が遅延した。とは言え、市民の気運を醸成し、合意を得るためには、対面で直接話すことが欠かせないと再認識した。以上を鑑み、ワークショップ形式のオンライン(ハイブリッド)化の環境整備や、その他にも多様な立場の方の意見を聴取できるよう、有効な手法の調査研究などさらなる工夫が必要である。